

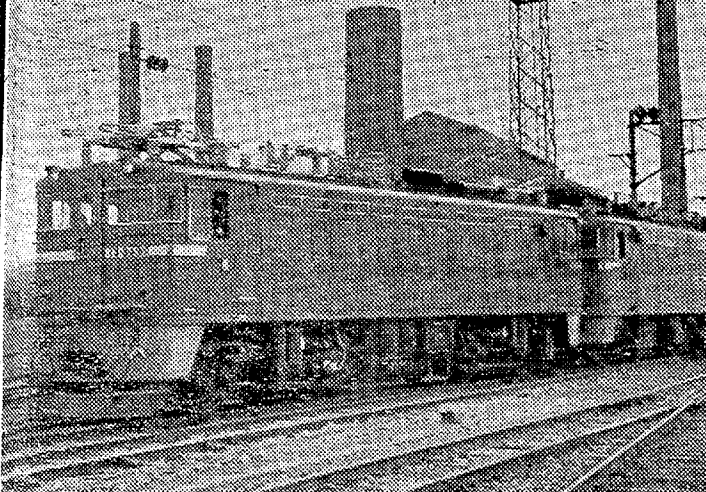
自動車、二年間で倍増

ライトバンは四倍に

県庁事務所が調べた石城地方の自動車数は、八千四百二十四台（昨年十一月末調べ）にも達し、十二月末現在では、八千六百台を越えたものと見られている。三十五年四月の調査では、三千七百五十四台だったが、三十四年四月には三千九百九十九台、三十五年四月に四千八百六十八台、三十七年七月末には八千二百八十八台と急増し、特に三十四年以降の伸びが急激で、三十七年まで年間約二千台以上が、三十七年七月以降は、一年五万台と急カーブの増加を示している。

車種別にみると、三十五年四月に比べて、三年間で一年で増加した割合で急増しているのは、多量の荷物が運べる軽トラック（軽トラ）（ライトバン）の四倍を超過した。軽トラが三、五倍、小型四輪車が二、三倍、中型四輪車が二、三倍、大型トラックが二、三倍、普通乗用車は二、三倍、オート三輪車は年々減少する一方であり、この二年間は、五百台も減った。お茶畑を小規模トラクタに切りかえている。各車種別に三十五年四月以降の増加率を次のように示す。

△軽トラ 三十五年四月は四百六十七台を数えたが、三十七年七月末には八百八十八台と、二年間で約二倍に増加した。三十七年七月末の増加率は、前年七月末の増加率より、二割以上多い。△普通乗用車 三十五年四月は四百六十七台を数えたが、三十七年七月末には八百八十八台と、二年間で約二倍に増加した。三十七年七月末の増加率は、前年七月末の増加率より、二割以上多い。△オート三輪車 三十五年四月は四百六十七台を数えたが、三十七年七月末には八百八十八台と、二年間で約二倍に増加した。三十七年七月末の増加率は、前年七月末の増加率より、二割以上多い。



日本に二合しない真紅の「D七五型」電気機関車が平野に配属され、十六日から運転業務を開始する。警備隊電化と同時に配属された「D八〇型」電気機関車に比べ馬力、けん引力ともにすぐれており、十四日は午後一時五分、同六時十五分、二回、本町まで試験運転して試験運転を行ったが成績は良好だった。（写真提供：平野電機）

三國座で成人式を挙行

常陸市の成人式はこれまで公民館で行なっていたが、こしは十五日午前九時から三國座で行なう市長、教育長から成人証の授与ならびに記念品の贈呈があった。記念論文の発表、賞品の授与があり、明日新聞東京、社山北清次氏の講演があり、終わって映画「輝く太陽」を鑑賞する。

真紅の電気機関車

日本に二合 常磐線に新配属

「D七五型」の真紅の電気機関車は水戸～平野間のローカルの客車と貨車をけん引するが、交流専用で四軸、四つのモーターで九百六十馬力、二千六百二十七キロ、重長十三、五、重電六十六、七、千三百、（貨車六十五両）のけん引力を持つており、車体は真紅に塗り替えられている。車内にも電燈、警報装置をはじめ、最新の設備が備わっている。

くらし 随筆

世の中の暮らしはすべて需要と供給の成り立ちで成り立っている。供給が成り立っていないと、生活は成り立たない。供給が成り立っているから、生活は成り立っている。供給が成り立っていないと、生活は成り立たない。供給が成り立っているから、生活は成り立っている。供給が成り立っていないと、生活は成り立たない。供給が成り立っているから、生活は成り立っている。

需要と供給

木田 博

日本の医学は世界のトップレベルであり、技術も最高である。供給と需要のバランスがとれている。供給と需要のバランスがとれている。供給と需要のバランスがとれている。供給と需要のバランスがとれている。供給と需要のバランスがとれている。

平市内校長会

吉野木材株式会社

福島県製材協同組合 勿来支部

東宝

暖房 完備

暖房 完備

暖房 完備

暖房 完備

ご婚礼家具は 勉強で評判の店 **丸萬家具店** 平野市 電話 68334

美しい映像・優雅な音質 **ビクター・テレビ** 富士サービスストア 平野市 電話 2449

クリーニング 洗濯・防水 **小松崎** 平野市 電話 3343

お湯のさめない **パーライト製タイル風呂** が 1日で出来ます 大谷建材店 平野市 電話 4834-5

チエツ待たせ る勘定場だなあ **藤越** 平野市 電話 2449

内科 小児科 **高久医院** 平野市 電話 3513

また私の胸の中に、高原の霧が漂っている... **霧に消えた人** 15日から 平日活

志賀 整形外科 外 科 平野市 電話 2709

武田薬局 平野市 電話 2709

舞妓はん 結婚式 暖房 完備 名画座 TEL 3839

1964 謹賀新年 昭和39年

勿来産業株式会社
カクダス給油所
社長 山園 榊
副社長 田部 義
伊子 吉
電話 七〇四一
勿来市西門

福島県 自家用
自動車協会石城支部
会長 国井 一美
平市駅前八 電話三四九

東北電力釜平営業所
所長 羽生田 伝
平市大町(代) 電話四一四一

福島県クリーニンング
環境衛生同業組合

日本バーテンダー協会
平支部
平市白銀町(谷)内 電話五八一

平市内校長会

勿来土木事務所
所長 斎藤 保司
勿来市農業委員会
会長 坂本 太平治

勿来公共職業安定所
所長 鈴木 正
ほか職員 一 同

勿来市議会議員
堀岡 作

勿来市議会議員
山際 丑太郎

勿来市議会議員
山崎 登

勿来電報電話局
局長 佐藤 増雄

植田町サービス会
会長 清水 清徳

歴史ある名産
名産 金平

吉野木材株式会社
取締役社長 吉野 幾重
専務取締役 吉野 八十栄
勿来市佐藤町 電話三二五五 二七七六

福島県製材協同組合
勿来支部
支部長 中野 豊美
勿来市佐藤町 電話三四〇九

洋商常設
植田ロマンス
電話二九〇二

渡清食堂
衛生的な明るい
勿来市西門 電話二〇六二

磐城造林
社長 赤津 庄兵衛
専務 高橋 貞一

勿来木材工業
取締役社長 金屋 正二
勿来市西門 電話七〇三三

中根砂利店
代表取締役 中根 寛
勿来市西門 電話二四六一 二五二七

前作の好評をしのぐ感動大作！
続 将王

三国連太郎
江原真二郎
三田佳子

丹阿彌谷津子
阿川比呂志
川花西村 衛

監督 佐藤純彌

明15日から封切り公開 駅前平東映

野望燃える一乗寺下り松 / 眼下の敵 七十三人 / 武蔵 生死一路に起つ / 総天然色

宮本武蔵 一乗寺の決斗

中村錦之助 主演

東野英治 若原雅夫 千原しのぶ 東千代之子 江原真二郎 高倉健

明15日から封切り公開 駅前平東映

製作費2億 / 新春にぶっ放す超大作！

道魔魂 大龍巻

総天然色

野望の剣 / 灼熱の恋 大荒野を襲う！ 空前の大スペクタクル！

市川梁五郎 佐藤陽介 夏木陽介 水野由美子 久我美子 三船敏郎

無責任部隊の爆笑作戦！

香港 クレージー作戦

総天然色

人気スター総出演 / 世界を手玉にガチオンと爆笑の殴り込み

植木 三郎 谷 啓 八木 保 谷 啓 八木 保 谷 啓 八木 保

正月 明15日 封切り 東宝民劇 暖房 第3弾 3日 完備 TEL 3322

ご婚 萬

平市外指 平市校外生活指導 導達反会 週報(十七日午 二時から) 警高会議室で理事会 開き、冬休みの補講の反省と今後 の計画などについて協議する。

「8日見舞した。E.D.七五型」 送風機、教海機、変圧器、過電流

「入院 随想」 平市駅前(二七) 亞答製(くも) 電話八四六

院長 志賀 柳一

1964 謹賀新年 昭和39年

平市教育委員会

委員長 鈴木 寛
教育長 鈴木 光四郎

健康とくすりの
ご相談は

堀薬局

平市町目 電話三三六

平商工会議所

会頭 山崎 賢助
副会頭 坂本 昌蔵
事務理事 坂井 清之助
専務理事 草野 四郎
平市新川町 電話三一九・四八三九・四八四〇

常磐炭礦福島県販売

取締役社長 阿部政右衛門
平市町目二四 電話(代)六一四一

警城通運株式会社

取締役社長 齋藤 昌平
専務取締役 北郷 徳助
常務取締役 小林 重三
平市町目五九 電話(代)三六一

石城酒造組合

理事長 古川 伝一
平市鍛冶町一八 電話二八五

平電報電話局

局長 鈴木 勝栄

平市飲食業会

会長 金子 松男

平製氷冷蔵株式会社

平市町目 電話二六三四

東部瓦斯^鉄平事業所

所長 桜本 賢三

平市旅館組合

組合長 渡辺 栄咲

平美容師会

▽一月十五日(成人式)は平常通り営業いたします
▽なお二十二・三日(二日間)は臨時休業いたします

平木材市場

取締役社長 佐藤福太郎
取締役専務 吉田敦郎
内郷市鍛冶町下馬場三〇
電話(〇八)二二六四六

平林友協同組合

理事長 佐藤福太郎
副理事長 芹沢 政資
滝口 寅雄
平市才樋小路一 電話三三三五
事務局平市赤井 電話三三三五
事業所小川町小川駅前
(電話)小川一四〇

佐藤木材株式会社

取締役社長 佐藤福太郎
取締役専務 佐藤 保祐
平市才樋小路
電話三三三五・二〇九八

矢吹電話工業株式会社

取締役社長 矢 吹 一
平市新川町 電話5817・5818

四倉国際

代表者 橋本 萬蔵
四倉町本町(電話)四一六

平交友会

会長 橋本 保
副会長 猪狩 徳治
佐藤 正雄

生天目義雄

公認不動産鑑定
常磐地建物取引所
平市古鍛冶町 電話八三七

平青年会議所

理事長 阿部 乙之
副理事長 鈴木 隆夫
同 山崎 隆一
同 佐々木 芳弘

東北金属化学研究所

取締役社長 鈴木新兵衛
平市町目五五 電話三三二二・二四六六

平芸妓芸妓屋組合

組合長 大久保 一
平市町目 電話(代)五二〇一

平市建設業組合

組合長 川和 徳一
平市鍛冶町四〇一八 電話四七九・五〇三九

1964 謹賀新年 昭和39年

平地区食肉商業協同組合

組合長 大塚 武雄

福島県信用漁業協同組合連合会

会長理事 馬 上 庄 治
専務理事 三浦 五 雄
参事 林 忠 行
平市材木町四 電話三八八・五四三九
会長理事 鈴木 常 松
平市材木町四 電話五六二・五六三二

諸橋合名会社

平市五町目六

諸橋金物株式会社

平市五町目六

諸橋電機株式会社

平市五町目二二

諸橋家庭電器株式会社

平市五町目二七
電話(代)六一二市外専用九

斎藤洋服店

平市町目四六 電話五〇〇六

内郷市消防団

団長 加藤 武久

平市消防団

団長 藤倉 武雄

内郷で県考古学大会

25・26日 文化財保護呼びかけ



山砂採取物から石棺出る

下高久の神谷古墳群
〇十四日朝、平市下高久字腰巻の鈴木ユキ子さん所有地(仁科地区)の山砂採取物から石棺が発見された。第一班は二月

新

かむ町 088 寄賣店

休 8時

以上がります

員会

学校

EL・6723

内郷で県考古学大会

25・26日 文化財保護呼びかけ

県考古学会、県考古学内郷支部、演説。二日(午前九時)は内郷市公会堂で開会式。三井物産会館で開会式。午後二時から研究発表が行われ、この学会は内郷の古代文化を研究し、その発展に寄与することを目的として、昭和二十九年に創立された。この学会は、内郷の古代文化の発展に寄与することを目的として、昭和二十九年に創立された。この学会は、内郷の古代文化の発展に寄与することを目的として、昭和二十九年に創立された。

殴られ左眼を失明

被害のチンピラ逮捕

被害者は十三日深夜の酔いで、殴られ左眼を失明した。被害者は、十三日深夜、市内某所で、同市某町のチンピラに殴られ、左眼を失明した。被害者は、十三日深夜、市内某所で、同市某町のチンピラに殴られ、左眼を失明した。

交通違反の百三十人を処分

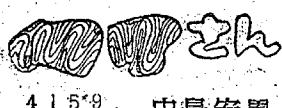
平罰悪質運転者

平罰悪質運転者、交通違反の百三十人を処分した。平罰悪質運転者、交通違反の百三十人を処分した。平罰悪質運転者、交通違反の百三十人を処分した。

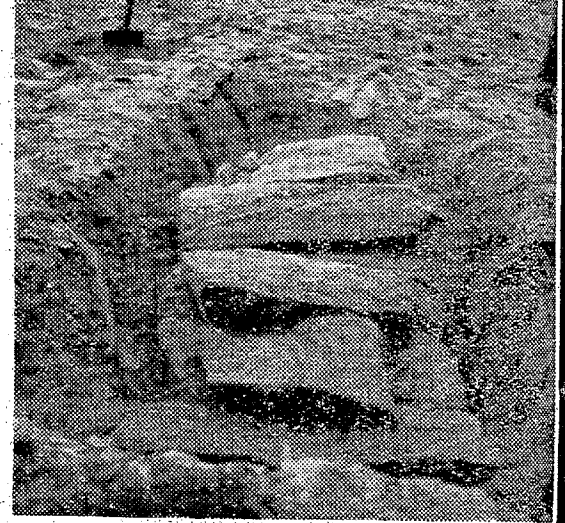
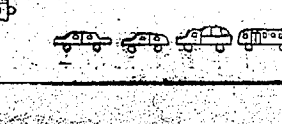
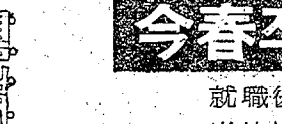
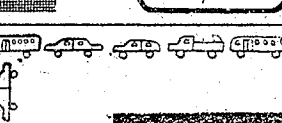
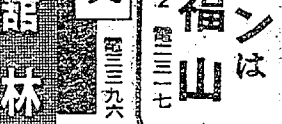
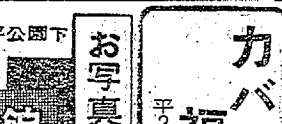
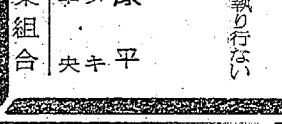
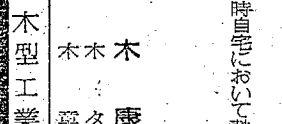
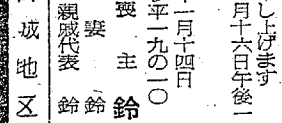
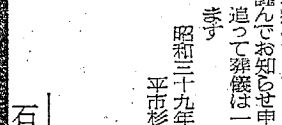
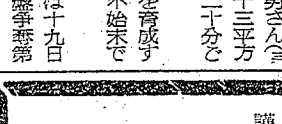
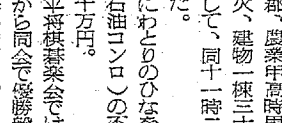
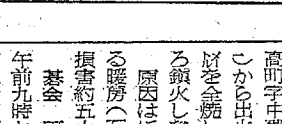
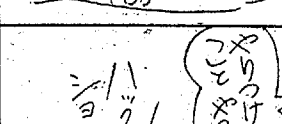
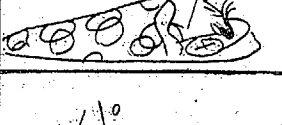
長久丸の捜索

打ち切れる

長久丸の捜索、打ち切れる。長久丸の捜索、打ち切れる。長久丸の捜索、打ち切れる。



4159 中島安男



小さな親切バッチできる

小中生対象に運動

小中生対象に運動、小さな親切バッチできる。小中生対象に運動、小さな親切バッチできる。小中生対象に運動、小さな親切バッチできる。

全戸参加呼びかけ

一ピキ10円でネズミ退治

全戸参加呼びかけ、一ピキ10円でネズミ退治。全戸参加呼びかけ、一ピキ10円でネズミ退治。全戸参加呼びかけ、一ピキ10円でネズミ退治。

常警の交通

事故が減る

常警の交通、事故が減る。常警の交通、事故が減る。常警の交通、事故が減る。

山砂採取物が

石棺出る

山砂採取物が、石棺出る。山砂採取物が、石棺出る。山砂採取物が、石棺出る。

賞状

賞状

賞状、賞状。賞状、賞状。賞状、賞状。

賞状、賞状。賞状、賞状。賞状、賞状。

賞状、賞状。賞状、賞状。賞状、賞状。

賞状、賞状。賞状、賞状。賞状、賞状。

賞状、賞状。賞状、賞状。賞状、賞状。

賞状、賞状。賞状、賞状。賞状、賞状。

お写真 館林

カバン 福山

コビー 福山

マツモト

伊東家具店

質 草野質店

今春卒業する高校生の皆さん 年中無休 朝8時-夜8時 電話一本下さればお迎えに上がります 福島県知事認可 福島県公安委員会 福島県平自動車学校 内郷市御台(鉄道沿線) TEL: 6723

